
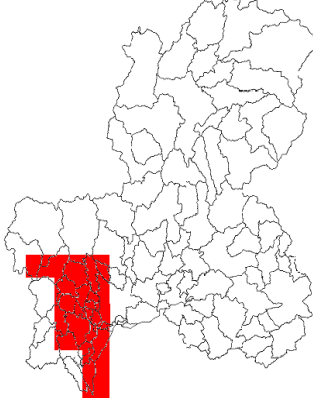


キケマン	<i>Corydalis heterocarpa</i> Siebold et Zucc. var. <i>japonica</i> (Franch. et Sav.) Ohwi	準絶滅危惧
		ケシ科
選定理由	海岸に近い暖地の草地という生育場所が限定されている。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	高さ40-70cm、太い茎の根元からよく分岐する。毛はなく全体粉白色を帯びる。葉の輪郭はほぼ三角形で、小葉は細かく切れ込む。花は黄色で距が短く、長さ約3cm、総状花序に多数つく。花期は3-6月。さく果は狭披針形でやや数珠状、ねじれない。黒色の種子は表面に細かい突起があり、2列またはほぼ2列に並ぶ。	
生態的特徴	暖地の海岸近くの草地・やぶの周辺・路傍によく生育する。多汁質の越年草。有毒植物。	
分布状況	暖帯、関東以西の本州・四国・九州・南西諸島に分布する。岐阜県においては美濃地方西部にみられる。	
減少要因	生育地の開発。	
保全対策	海岸に近い生育地の保全。	
特記事項	日本にのみ産するキケマン属植物である。	
参考文献	日本の野生植物 草本Ⅱ 離弁花類 平凡社(1982) 原色日本植物図鑑 中 保育社(1961) 週間朝日百科 植物の世界91 朝日新聞社(1996)	

文責: 三品和子